

鹿大教職組ニュース

No. 1265 2016年1月29日 発行：鹿児島大学教職員組合
Tel. 099-285-7285 Fax. 099-285-7286 e-mail. ka-kumiai@leaf.ocn.ne.jp

★教職組ニュースの新年号です。組合員でない方も、よろしければご覧ください★

2016年中央執行委員長からの年頭御挨拶

—2004年の国立大学法人化から12年を経過して—

教育学部教授 坂本育生

親愛なる鹿児島大学教職員組合の皆様、2016年もはや一カ月が過ぎましたがいかがお過ごしでしょうか。今年の干支は申ですが、ちょうど12年前の2004年の法人化以来、干支が一回りしたこととなります。この12年の間に国立大学を取り巻く情勢は著しく変化し、毎年の運営交付金削減の中で、多くの教職員は益々厳しい勤務状況にさらされています。さらに大学の運営体制におきましても、昨年行われた学長選挙では、以前は最終決戦投票まで行われていましたが、現在では意向投票はありますが、最終決定は学長選考会議となっています。また学部長選挙も同様で、いわゆるトップダウンの姿勢がうかがわれます。戦後70年以上が経過し、民主主義の逆行が着実に進行しつつあることが危惧されます。

このような時代においてこそ、教職員組合が力を発揮すべき時期と思われれます。一人の力では大きなことはできませんが、弱者でも多人数となれば、部局長との交渉を行うこともできます。「一人は万人のために、万人は一人のために」というフランス革命で掲げられた民主主義の精神を今一度思い返しつつ、組合活動の意義を考えて参りましょう。前回の組合ニュースでも書きました様に、幸いにして鹿大教職員組合の学長交渉では、学長自ら交渉の場に出席して下さいますので、今年もさらに学長交渉を継続して行く予定です。

それではこの2016年が皆様方に取りまして実り多き1年になりますことを心からお祈りし、中央執行委員長からの御挨拶とさせていただきます。

新年会和気あいあいの中で開催

鹿大教職組は、1月8日（金）18:00より生協中央食堂で新年会を開催し、23名の参加者がありました。今年度レクレーション担当の下田代先生（農学部）の司会のもと、坂本委員長（教育学部）のあいさつと乾杯で始まりました。最初は何となく各学部ごとに分かれていたテーブルもすぐに区別が無くなり、仕事や研究の話はもちろん、身の上話（故郷の話や子供の話）や趣味の話（10日には「菜の花マラソン」を走るという方も何人かおられました）などいろいろな話で盛り上がりしました。（あまり、組合の話はしなかったかも知れません。）とにかく普段は話すことのない他の学部の人たちと、気軽に話げることが最大の収穫でした。



生協の食堂でのささやかな新年会でしたが、数名の先生から研究室に眠っていた日本酒やワインなどの差し入れもあり、十分満足できるものだったと思います。今回は新年早々の企画で、参加の呼びかけなども不十分だった点が反省されます。今年度中にもう一回は全体レクレーションを企画するつもりですので、その際は気軽に、積極的に参加していただければと思います。（書記長 橋木直也）

✂ 団体交渉に向けて要望をお寄せください！

鹿大教職組中央執行委員会は、本年度第2回目の団体交渉を3月～4月を目処に大学側と行おうと考えています。

労働組合は賃金や労働時間など労働条件全般に関わる事項について使用者側に対して団体交渉を行う権利を保障されており、使用者側は労働組合に対して誠実に交渉に応じる義務を負っています（労働組合法）。一方、労働組合にその事業所の労働者の半数以上が加入していない場合には、就業規則の作成・変更や時間外・休日労働に関する取り決め（いわゆる36協定）などをするためには、使用者側は過半数の労働者を代表する過半数代表を選出して意見を聴取し、その意見書を添えて労働基準監督署に提出しなければなりません（労働基準法）。ただし意見を聞いても、それに対応するかどうかは使用者側の裁量にゆだねられており、よほど理解のある使用者でない自分たちの意に沿わない意見は取り入れるとは考えられません。

したがって実際に賃金や労働時間などの労働条件に関わる問題について、労働者の要求を実現していける可能性は、労働組合が行うことができる団体交渉の方が高いといえます。（もちろん交渉事ですから、お互いの力関係によると考えられますが。）ですから鹿大教職組は、組合員の皆さんの労働条件や職場環境などに関する要望をお聞きして、内容を整理したうえで要求事項をまとめて大学側と団体交渉を行い実現していくことが、中央執行委員会の最も大切な役割だと考えています。

ぜひ次回の団体交渉に向けて、皆さんが日ごろ感じておられる労働条件や職場に関する問題や悩みを、各支部の役員（直属支部の皆さんは担当中央執行委員）へお寄せください。中央執行委員会で、整理・検討して要求事項としてまとめて、団体交渉で要求実現へ向け取り組んでまいります。（書記長 樗木直也）

📖 学習会「TPPの背景と問題点」の開催報告

2015年12月22日（火）、講師に日野道啓先生（法文学部経済情報学科）をお招きして、昨年10月に基本合意がなされたTPP（環太平洋経済連携協定）に関する学習会（演題「TPPの背景と問題点」）を開催しました。

今回の学習会は鹿児島大学教職員組合と法文支部との共催であり、学生も含めて約20名の参加がありました。講演では、TPP交渉が進められている背景、交渉内容（分野）、基本合意の内容と（農業分野を中心に）日本経済への影響、問題点等についてお話いただきました。（中央執行委員 山本一哉）



📖 2月開催、学習会のお知らせ 📖

テーマ：科学と平和を考える講演会

『科学者の軍事動員が始まっている！』—科学は平和の為に—

日時：2月13日（土） 開場13:30～ 開会14:00～16:00

会場：鹿児島大学 共通教育棟111号教室

参加費：無料（どなたでも参加できます）

主催：日本科学者会議 鹿児島支部、鹿児島大学教職員組合



講師：池内 了さん

宇宙物理学、名古屋大学名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、世界平和7人委員会委員、「9条科学者の会」の呼びかけ人を務める。

科学の発展が軍事利用のためであってはならないという主旨のもと、宇宙物理学者で名古屋大学名誉教授の池内了氏に、平和を築くために科学者が真になすべきことは何か、お話していただきます。（中央執行委員 大田由紀夫、丹羽佐紀）